



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。



三重中央医療センター 患者支援センター長 長谷川 嘉弘

令和5年4月より、患者支援センター長を拝命いたしました長谷川嘉弘です。

日常では泌尿器科診療に従事しています。今回は、当院の患者支援センターについて紹介させていただきます。

当院患者支援センターは1階フロア、1番窓口と0番窓口の間にあります。看護師（がん専門看護師、退院調整看護師）、薬剤師、臨床心理士、社会福祉士、栄養士、事務専門職と多職種で活動しており、以下の三部門から構成されています。

①がん相談支援センター

現在、がん治療の多様化が非常に速いスピードで進んでいます。治療内容が複雑でわかりにくい、標準治療と言われたけれどそれは自分にとって良



い治療法なのだろうか、治療による副作用について説明を受けたけれども日常生活はこれまで通り送ることができるのだろうか、といった治療や副作用、仕事、学校生活についての相談や、治療薬が非常に高額と説明を受けたので心配だ、といった治療費のこと、家族や医療者との関係、その他がんに関する疑問や心配、不安など、どんなことでも相談できます。また、相談したことや相談内容が、相談した人の同意なくほかの人に知られてしまうようなことはありません。

②地域連携室

当院で治療を継続してきたけれども、安定してきたので通院に時間のかからない近所のクリニックにかかりたい、専門性の高い診療をうけてみたいなどそれぞれの希望にあった病院を選択したい。そんなときに地域の医療機関が連携することで、自分の状態に合った適切な医療が受けやすくなります。そうした効率的な医療提供体制づくりのための専門部署が、「地域医療連携室」です。

次の3部門から構成されています。

- 1) 前方支援部門；他院や診療所からの患者様の受け入れと他病院への紹介
- 2) 後方支援部門：退院時の医療介護の調整、在宅医療相談

先にも述べましたように、当院への受け入れや他病院への紹介のみならず、退院後の自宅での生活が無理なく送られているか、自宅訪問も行っています。

- 3) 入院支援室：入院前から入院時までの患者様のサポート

入院は何時にすればいいのか、入院生活にはどんなものが必要なのか、など入院に関する様々な疑問に対応しています。

地域連携室の最大の目的は、患者様お一人お一人が、円滑に当院を受診できること、適切な治療がうけられること、落ち着いた入院生活が送られること、退院後も安心して療養ができることであると考えます。そのためには、他病院、診療所の先生方、介護施設、訪問看護ステーション、院外薬局など地域の皆様との連携、情報共有が大変重要であると考えています。

③医療相談室

病院に関する様々なことに対応しています。上記の業務以外にも、介護保険、身体障害者手帳など各種福祉制度の手続きについて知りたい、といった内容もお気軽にご相談ください。

治療を続けていく中で、不安になることも多くあることと思います。そんなときにはいつでも患者支援センターにお越しください。

最後になりますが、今後も患者様お一人一人が安心して当院を受診していただけるよう、支援センタースタッフ一同、業務に励んでまいりますので、引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

赴任された先生

小児科新生児科 水谷 健佑

2023年1月より小児科新生児科に赴任致しました水谷健佑と申します。香川大学を卒業後、松阪中央総合病院で初期研修を行い、三重県内で小児科医として勤務して参りました。当院には2年前に小児科専攻医として1年間勤務させて頂きました。その後小児科専門医を取得し、新生児医療をより深く学ばせて頂きたいと思い、また当院にお世話になる事となりました。総合周産期母子医療センターである当院におきまして、新生児医療に関われることをとても嬉しく思います。誠心誠意努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。





定年退職にあたって

田中 剛史

2023年3月末をもって定年退職いたします。

昭和57年（1982年）、三重大学医学部を卒業、第3内科に入局、当時の教授のツルの一声で糖尿病を専攻することとなりました。約2年かけて糖尿病における腎障害について研究、博士号を取得しました。その頃は博士号取得後の『お礼奉公』という制度があり、教授に桑名市民病院（現桑名医療センター）に赴任を命じられました。何年で帰してもらえるのですかと尋ねると「2、3年」という返事でした。しかし、5年経っても帰してもらえず、平成5年、博士論文の時にご指導を賜った三崎盛治先生（当院初代院長）が当院の前身である国立津病院院長になっておられたので、お願いして採用していただきました。若くして「偉い人の口約束は信用するな！」という教訓を学んだわけです。

以後は平成10年に静澄病院と合併し国立三重中央病院、さらに国立三重中央医療センターと名称が変更されましたが、現在に至るまで一貫して当院にお世話になってきました。

開院時より糖尿病を中心に診療を行い、いずれ糖尿病センターを設立したいと思い頑張ってきました。その頃、日本糖尿病療養指導士（CDE-J）認定制度が設立されたため、志を同じくする看護師さんたちにもその資格を取得していただき、管理栄養士、薬剤師さんたちと糖尿病教育入院や糖尿病教室も積極的に行いました。特に月1回の糖尿病教室には最大100名以上の患者さんが参加してくださったこともありました。また、実際に糖

尿病食を召し上がっていただく「糖尿病バイキング」、「デザートバイキング」も好評で、これらは県内外からも注目されました。さらに、糖尿病関連の学会発表も数多く行い、糖尿病治療薬の臨床治験、医学研究にも参加しました。特に厚生労働省と東京大学が中心となって行った『糖尿病合併症予防のための戦略研究』（JDOIT-3研究）では登録数全国7位となり、東大の鉄門記念講堂で講演させていただいたことは今でも良い思い出です。

しかし、残念ながら、国の医療に対する方針が「大病院は急性期疾患を診療、慢性期疾患は開業医が診る」と転換されるにつれ、糖尿病内科の立場は極めて弱いものとなっていきました。病院が糖尿病を重視しないという風潮はコメディカルスタッフにも伝わり、CDE-J希望者数も徐々に減り、最近はほとんど誰も受験してくれなくなりました。

とはいえ、糖尿病が急性期病院にとって不要かということと全くそんなことはありません。外科分野での術前後の血糖管理、糖尿病に合併した心血管病変（狭心症、心筋梗塞や脳梗塞など）の予防と早期発見、糖尿病を合併した妊婦さんの管理等々、また、近年、より複雑化した糖尿病治療薬について非専門の開業医先生からは自院では扱えないとの相談が数多くあります。今回、退職に伴い先陣を切って当院の糖尿病診療を支えていくことは困難になりましたが、4月以降も外来診療を継続しますので、引き続きお付き合いの程をお願い申し上げます。

本当に長い間ありがとうございました。

—がん治療について—



—子宮頸がんについて—

婦人科 張 凌 雲

子宮がんは二つあります。子宮の入り口のところに発生した子宮頸がんと子宮の奥に発生した子宮体がんです。今回子宮頸がんについてお話させていただきます。

日本の子宮頸がん罹患率は増加し、年間罹患数は約10,000人、死亡数は約2,800人です。若年化の特徴あり、生育年齢の30代後半が一番多いです。子宮頸がんの治療で妊娠ができなくなる人は年間1,000人がいます。

子宮頸がんはほとんど自覚症状なく、進行すると、不正性器出血や性交渉時の接触性出血があります。

子宮頸がんの治療法として手術療法、放射線療法および化学療法の三本柱です。手術療法について、早期がんの場合には、子宮頸部一部を取ると、妊娠できますが、流産・早産のリスクが高くなります。一旦、進行すると、根治性を担保するために、広範囲子宮摘出の場合には、術後排尿障害、下肢リンパ浮腫など日常生活に大きな影響をきたします。放射線療法において、頸部腺がんは2022年に重粒子線治療が保険適応となり、化学療法においては、2018年アバスチン、2022年キイトルーダの新規薬剤が保険適応となりました。今後、治療成績が改善されることが期待しております。

実際は子宮頸がんが予防できることを知っていませんか？ほとんどの子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によって発症します。HPVには200種類以上あり、そのうち、15種類（ハイリスクHPV）が子宮頸がんに関わります。ハイリスクHPVに感染してもほとんど一時的なもので、免疫力により自然消失しますが、5～10%程度HPVが持続感染状態になります。この場合には、数年～十数年の前がん病変を経て、子宮頸がんになる可能性があります。前がん病変の段階で見つかり、妊孕性温存ができるし、ほぼ100%治癒できます。早期発見が重要であり、子宮がん検診が有効な対策です。日本では20歳になってから、2年に1回子宮頸がん検診を推奨されます。また、HPV感染による子宮頸がんはHPVワクチンで予防ができます。HPVワクチン最も推奨されるのは10-14歳の少女、さらに少年にも先進国で推奨されます。将来的に、HPVワクチン予防接種の普及と子宮頸がん検診受診率の増加で進行子宮頸がんの撲滅の時代が迎えてきます。

当院では、子宮頸がんの手術療法・放射線治療・化学療法を積極的に行っています。年間子宮頸部細胞診異常で精査依頼された症例数は約120例、前がん病変の手術は約30例です。今後、ワクチン接種、がん検診、治療などについてご心配なことがありましたら、いつでも気軽にご相談してください。

がん相談支援室 案内

『患者サロン交流会 再開のご案内』

当院ではがん患者様とご家族の交流の場として、患者サロン交流会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年2月から休止をしておりました。新型コロナウイルスの感染が心配される中ではありますが、できるだけ感染対策を行い、令和4年12月より患者サロン交流会を再開させていただくこととなりました。

患者サロン交流会は2ヶ月に1度、がんに関する話題を病院で働く医師や看護師、薬剤師などの専門職が話をさせていただき、その後みな様で意見交換会のような交流の場を設けております。

令和5年度は下記表のような計画となっております（日時、内容が変更となる場合がありますので、その都度のご確認をお願いします）。今後もみな様が関心を持っていただけるテーマを探し、多くの方が参加していただけるように計画をしていきたいと思っております。なお、参加費は無料、参加の予約は必要ありません。開催の案内は院内の掲示や三重中央だより、当院ホームページなどで案内させていただきますので、ご確認いただければと思います。

みな様のご参加お待ちしております。

三重中央だより 交流会 [検索](#)

年間計画

開催日	担当	テーマ
5月17日(水)	泌尿器科 長谷川医師	前立腺がんについて
7月19日(水)	管理栄養士	夏バテしないための食事の摂り方
9月20日(水)	薬剤師	免疫療法とは
11月15日(水)	臨床心理士	話すことの大切さ
1月17日(水)	理学もしくは作業療法士	寒い時期にこそ身体をほぐしましょう
3月6日(水)	MSW	がん患者さんに知ってもらいたい社会制度

★問い合わせ先★

三重中央医療センター 患者支援センター
 がん相談支援室 担当：中村、池田、三好
 TEL：059-259-1211 (代)

募集 ボランティア

未経験大歓迎!!! 案内・車椅子介助・美化活動等々!!!



ココロをカタチに
～あなたの真心届けてみませんか?～



当院では、ボランティアを募集しています。

【問い合わせ先】

三重中央医療センターボランティア事務局

地域連携室 医療相談室 担当

電話059-259-1211 (代)



自分のためのボランティア

あなたは今胸を張って「幸せ」だと言えますか？

今をより良く幸せに生きるためにはボランティア活動がおすすめです。

2022年の世界幸福度ランキングで日本は146ヶ国中54位でした。調査結果を見ると多くの日本人が現在幸福感を感じていると言えそうにはありません。

日本という国は裕福さや健康面を見ても、GDP世界第3位・健康寿命はなんと世界第1位と決して低い水準ではありません。むしろ高水準にあります。

それなのになぜ日本人はここまで幸福度が低いのでしょうか？

人が幸せだと強く感じるとされるものに、自己肯定感があります。自己肯定感は幸せという感情に直結する心理と言われています。

そして、その自己肯定感を得るためには3つの要素が必要不可欠とされています。

能力（自分のしたいことができる感覚）、自律（自分の決定権を行使している感覚）、人間関係（他者とつながっている感覚）の3つです。

ボランティア活動は上記の3つのポイントをすべて満たし、行うことで自己肯定感向上→幸福感向上→自己肯定感向上→…となり幸せの相乗効果が次々と生まれどんどん幸福となっていきます。

また、ボランティア活動は社会が必要としています。

社会が必要とすることを行っている状態は、利他的で、親切で、思いやりのある状態ですが、このような利他的な行動（誰かから必要とされる行動）もまた自身の幸福度を高めることが、さまざまな研究により検証されています。

世界幸福度ランキングに戻ると、上位の多くを北欧諸国が占めています。

共通点として、幼少の頃から、チャリティ活動、ボランティアといった積極的な社会参加が教育によって根付いており、それが大人になっても継続的に行われていることが挙げられています。ここからもボランティア活動と幸福度向上には何かしらの因果関係があるものだと考えられます。ボランティアさんが当院でご活躍していただけることを心待ちにしている一方、ご自身の自己肯定感を高め、この機会に幸福感と一緒に向上してみませんか？

最後に、スヌーピーの生みの親、チャールズ・M・シュルツの名言で結びとさせていただきます。

「与えることだよ！ただ1つのほんとうの喜びは与えることだ」

独立行政法人
国立病院機構

三重中央医療センター

藤田医科大学七栗記念病院

独立行政法人
国立病院機構

神原病院

2023年度

合同市民公開講座 ナインゲールフェア

予約不要
入場無料



身近な地域包括ケアシステムのお話し ~ 連携で老いと病を支えます、津の仲間が、津の街で ~

市民公開講座 13:00~15:00

- ①「地域包括ケアシステムについて」
津市健康福祉部地域包括ケア推進室
- ②「こけて動けなくなったら
～急性期病院における
大腿骨近位部骨折の治療～」
三重中央医療センター 整形外科医長
田中 雅先生
- ③「また歩くことができるようになるために
～大腿骨近位部骨折後の
リハビリテーション～」
藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション科准教授
岡崎 英人先生
- ④「訪問リハビリについて」
藤田医科大学訪問看護ななくり 理学療法士
堀 和朗先生

ナインゲールフェア 11:00~13:00



- *健康チェック
- *お口の相談
- *栄養相談
- *健康体操指導
- *ロコモチェック
- *1日体験薬剤師
- *アルコールチェック
- *メンタル相談
- *アロマ体験
- *ナインゲール
歴史展



フェア当日には、アルスプラザ駐車場にキッチンカー（カレー・ハンバーガー・丼・からあげ・弁当等）が来場予定です。昼食にご利用下さい。



日時 ● 2023年5月27日(土)
開場/11:00~ 開演/13:00~
ナインゲールフェア...11:00~13:00
市民公開講座.....13:00~15:00

会場 ● 津市久居アルスプラザ
ときの風ホール・アートスペース
ギャラリー



★参加された方には粗品をプレゼント!! (数量限定)★

主催 独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター・藤田医科大学七栗記念病院
独立行政法人国立病院機構 神原病院
共催 津地区医師会・久居一志地区医師会
後援 津市・三重県看護協会・三重県訪問看護ステーション協議会・津市社会福祉協議会
協賛 井村屋グループ株式会社・株式会社おやつタウン・株式会社丸八ヒロタ・尾家産業株式会社・ユリカ株式会社
マックスパリュエ東海株式会社・ネスレ日本株式会社ネスレヘルスサイエンスカンパニー

お問合せ先 月~金
9:00~17:00

独立行政法人
国立病院機構
三重中央医療センター
藤田医科大学七栗記念病院
独立行政法人
国立病院機構
神原病院

地域医療連携室 TEL 059-259-1211
総務課 TEL 059-252-1555
管理課 TEL 059-252-0211



「里山こころの便りー柵原の窓から」

行動に問題がある子供さんの場合

こだわりが強く、融通がきかない、同じ行動を繰り返そうとする、それを止めようとするとかんしゃくを起こす、という行動パターンをとる子供がいます。このパターンをとる多くの方には自閉症スペクトラム障害が基盤にあり、さらに知的な理解が困難であると、言葉として自身のつらさを伝えることができないため、行動としてかんしゃくを起こしてしまうと考えられます。一見するとかんしゃく（大声を上げる、物に当たる、暴力を振るう）が目立ちますが、その子供にとって何がしかの嫌なことがあって、その反応としての行動化としてかんしゃくを起こすと推測できます。かんしゃくを止めようと無理に制止することが、次のかんしゃくに繋がることもありますので、行動化を防止するには、その子供の行動を子細に観察することが大切です。空腹、暑さ、騒がしさ、などの環境や、苦手な人がいる場合など、かんしゃくを起こす前の子供にとって嫌な状況がわかると、その状況を改善することで行動化を防止～減らすことが可能になることがあります。逆に行動化への対応を誤ると行動化をさらに強めることもあります。私たちは強度行動障害を生じる方への介入のお手伝いをしています。必要な場合には医療型短期入所という形で病棟に入っていただき（3か月以内）、看護、心理、作業療法、精神保健福祉士の多職種で行動を観察しながら、適切な介入方法を検討し、ご家族や施設の方にお伝えしながら自宅や施設で過ごしやすいようになっていただくことを行っています。



村田昌彦

柵原病院
院長



「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL. 059-259-1211 内
地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ捺印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。
特典は変わることがあります。)

■会員証
住所 _____
氏名 _____
電話 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集
後記

別れと新しい出会いが多い春ですが、コロナウイルスの流行で余儀なくされていたマスクも「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる」となりました。病院内ではまだ、マスク着用を推奨となっているので、患者さんの顔を拝見することには時間が必要ですが、野外や他の商業施設では、マスクなしの顔を拝見できることになりそうです。

(小)

発行所

三重中央医療センター

院長 下村 誠

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.miechuo-hosp.jp/>

●●● 三重中央医療センター—連携医療機関紹介 ●●●●●●●

東 海 眼 科



津駅前で眼科専門有床診療所として1986年に開業しました。以来現在まで、大学病院や地域の先生方のご協力のもと、眼科救急の24時間受け入れを継続しています。眼科領域の対応はできる限り行いますが、外傷や内科的基礎疾患について精密検査や治療が必要な場

合があり、三重中央医療センターの各科先生方にはいつも助けていただいています。この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも精進いたします。引き続きご指導のほどよろしくお願いたします。



理事長：中井 義秀
 院長：前沢 義典
 住 所：〒514-0009 津市羽所町399
 電 話：059-228-8111 FAX：059-225-3898
 診療科目：眼科
 休 診 日：金曜日、日曜日午後・祝日午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝日
9:00～12:00	○	○	○	○	△	○	○	○
16:00～20:00	○	○	○	○	△	○	△	△

坂 倉 内 科 医 院



当院はJR阿漕駅から徒歩3分、津市幸町にある内科クリニックです。2018年に前院長から継承し、女性医師である現院長が診療にあたっています。患者様の心に寄り添う暖かい医療を目指して、スタッフと共に一丸となり日々奮闘しております。

当院は一般内科、急性期疾患の診療の他、生活習慣病の診療や予防にも力を入れています。検査に関しては迅速血球測定検査を始め、苦痛の少ない経鼻上部内視鏡検査や腹部・頸部超音波検査などを用いて、でき

ホームページ：<https://sakakura-naika.com>

るだけ速やかに診断、治療に進んでいけるよう心がけています。さらに詳細な検査や入院加療が必要な際には、連携医療機関へのご紹介、情報提供をしています。三重中央医療センターの先生方やスタッフの皆様には日頃大変お世話になり感謝しております。

その他各種健康診断やワクチン、在宅医療なども行っておりますので、何なりとご相談ください。

院 長：坂倉 美穂
 住 所：〒514-0835 津市幸町4番6号
 (R23「南中央」交差点から西へ50m)
 電 話：059-226-7770
 診療科目：内科、消化器内科、呼吸器内科
 循環器内科、血液内科
 休 診 日：木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:00	○	○	○	△	○	△	△

河合産婦人科

ホームページ：<http://www.san-kawai.jp>



当院は、平成2年10月に松阪市船江町の近鉄道路沿いに開院し33年になります。平成25年に産科医療をさらに充実させるため、建て替えし病室を16床に増やしました。最新の分娩監視システム・4Dエコー装置などを揃え、安心して頂けるお産、快適な入院生活を提供できるようにしました。

充実した産前産後の指導とマタニティビクス・エク

ササイズ・産後のピラティス・フィットネス・など、母乳・栄養相談にも力を入れています。

更年期のなやみなどにも耳を傾け、ホルモン補充療法・漢方薬治療・プラセンタ療法・エクオールサプリメントなど最適な治療法を勧めています。また、アンチエイジングにも取り組み、プラセンタ療法・LED光療法・HGH（ヒト成長ホルモンサプリメント）・エクオールサプリメント・美容注射など提供しています。

院長：河合 美良
住所：〒515-0812 松阪市船江町3-3
電話：0598-26-8585 FAX：0598-26-8847
診療科目：産科・婦人科
休診日：木曜・日曜・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:00	○	○	○	△	○	○	△

まきのクリニック



津市安芸郡美里村の時代にこの地に開業させていただき21年の月日が流れました。現在は津市美里町となっております。クリニックは風が良く通る河岸段丘の上に位置しています。近くにはキジやカラスやトンビやアオサギ、イノシシや鹿、サルの群れなどがみられ自然豊かな土地柄です。コロナ禍のため外来診察を予約制にしましたが、患者様の理解により混乱することもなく現在に至っております。

昨年度の院内設備の充実では内視鏡検査に最新機器

（オリンパスX1）を、胸部レントゲン撮影には肺癌の早期診断の補助に人工知能（CXR-AID）を、在宅における腹部疾患や心臓検査のためにポケットに入る超音波機器（GE製VScan）を導入しました。

疾患に応じて三重中央医療センターの各科を紹介させていただくことで地域医療の一端を担っております。すこやか薬局やまびこ店の協力と、少人数ですが優秀なスタッフのおかげで円滑に診療できております。今後ともよろしくお願ひします。

院長：牧野 幸郎
住所：〒514-2106 津市美里町足坂165-2
電話：059-279-5111
診療科目：内科
休診日：木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:45～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
 ●医師の人事異動・出張等により臨時に代診(林診)となる場合があります。

2023.5.1 現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	内藤 雅大【呼】	田中 淳子【循】	川崎 敦【循】	後藤 浩之【糖】	
	2診	新谷 卓也【循】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】		村上 弘明【循】	
	3診	宮田 徹也【消】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	葛原 正樹【消】	
	4診	垂見 啓俊【呼】	宗吉 佑樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	若中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
		6診	井端 英憲	井端 英憲	内藤 雅大		
	(整形1診)		藤本 源				
	(内科5診)			岩中 宗一(2,4,5週)【呼】			
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		村上 弘明(午前再診)	
	消化器内科	7診	葛原 正樹	宮田 徹也	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内科	8診	岡崎 貴大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史(初診)【糖】	田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	岩中 宗一【呼】	内藤 雅大【呼】	奥田 昌也(1,3週)【糖】	岡野 智仁【呼】
		(泌尿器1診)	宗吉 佑樹【糖】			田中 崇(2,4,5週)【糖】	
		(泌尿器1診)	宮原 健吉【糖】				
	(整形2診)		西村 正【呼】	辻 愛士【呼】			
腎臓内科(内科6診)		村田 智博					
(内科5診)			吉川 恭子(1,3週)【消】				
肝臓内科(整形3診)				吉川 恭子【消】			
ペースメーカーチェック(14ブロック)	ペースメーカーチェック(毎月第1月曜日午後)				ペースメーカーチェック(毎月第1木曜日午前)		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	有川 茂雄	林 理絵	
	2診	大内 智洋	有川 茂雄	林 理絵	大内 智洋	吉丸 公子	
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	小川 昌宏	内菌 広匡(1,3,5週)	内菌 広匡	大槻 祥一郎
		3診	田中 滋己	親子支援	大森 あゆ美	小川 昌宏	北村 創矢(予約)
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	小児外科医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週)	大森 あゆ美(1,3,5週)
2診		小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)		佐々木 直哉(1,3,5週)	櫻井 直人(2,4週)	佐々木 直哉(2,4週)	
3診		小川 昌宏(1,3週)	NICU連携 心工コー外来(1,3週)	小川 昌宏	内菌 広匡(1,3,5週)	成長外来	
4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	シナジス外来		
消化器外科	1診(初診)	湯浅 浩行	消化器外科医師	大森 隆夫	信岡 祐	林 泰三	
	2診(予約)	信岡 祐	下村 誠	水上 拓哉	林 麻未	湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						安達 勝利	
乳腺外科(予約のみ)	外科2診					石飛 真人	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	前田 ひづき		前田 ひづき			
形成外科	呼外1診	細見 謙登(第4週オペ)		石浦 良平(5月まで) 最終週は三重大学医師			
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤麿	山本 陽子	池澤 宗成	深澤 恵児	山本 陽子	
	2診(予約)		石田 藤麿		池澤 宗成	深澤 恵児	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)	整形3診					西川 拓文	
呼吸器外科	1診		午前:安達 勝利 午後:渡邊 文亮		渡邊 文亮	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(初診は紹介状のみ・完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹		荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹(初診)	
	整形3診(火曜日) 整形1診(木曜日)		大植 裕之		大植 裕之		
産科・婦人科	午前	1診(初診)	横山 由佳	山口 恭平	張 凌雲	神原 洸太	奥村 亜純
		2診(婦人科再診)	北村 亜紗	村瀬 結香	神原 洸太	横山 由佳	柏原 優花
		3診(産科再診)	張 凌雲		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)			毎日、完全予約制(担当は交代制)		
	午後	1診(産科再診)	横山 由佳	山口 恭平	張 凌雲	神原 洸太	奥村 亜純
2診(婦人科再診)		北村 亜紗	村瀬 結香	神原 洸太	横山 由佳	柏原 優花	
3診	張 凌雲	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一			
4診			毎日、完全予約制(担当は交代制)				
眼科		前田 聡	前田 聡	前田 聡	三重大学医師	前田 聡	
耳鼻咽喉科	午前(初診) (火・金は紹介のみ)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	午前(再診予約のみ) 午後(再診予約のみ)		伊藤 由紀子	伊藤 由紀子 中耳外来		伊藤 由紀子	
放射線科(画像診断)		初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	
放射線治療 (事前予約のみ)	午前		二見 友幸				
	午後	笹岡 政宏		笹岡 政宏	二見 友幸		
歯科・歯科口腔外科 (金曜日は再診のみ)	午前	柳瀬 成章/若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
	午後	柳瀬 成章/若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/三重大学歯科医	柳瀬 成章/若林 宏紀/加納 慶子	若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破脳動脈瘤の相談	水頭症外来
月・火曜日 午前診療	水曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	月曜日 午後診療	木曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)	脳神経外科(深澤)
脊椎・脊髄外科専門 肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・臍胸		中耳外来(予約)	助産師外来	おっぱい外来(予約)	乳腺外科(予約)	
金曜日(10時~12時30分) (要予約・紹介)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・水・木・金曜日 午前午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	
脊椎・脊髄外科(西川)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(石飛)	